

モニ1000里地 ホタル類調査 調査記録用紙（区画環境）

ver3.1

サイト番号： _____

サイト名 _____

調査主担当者： _____

調査年： _____ 調査票No. (_____ /計 _____ 枚)

地区名					
区画の設定方法 (通常orサンプリング法)					
区画名					
カウント方法		定点 ・ 踏査	定点 ・ 踏査	定点 ・ 踏査	定点 ・ 踏査
水辺の有無	流水域(「有り」なら①も記入)	有り ・ 無し	有り ・ 無し	有り ・ 無し	有り ・ 無し
	止水域(「有り」なら②も記入)	有り ・ 無し	有り ・ 無し	有り ・ 無し	有り ・ 無し
① 流水域の環境条件	流水域のタイプ※1 (区画内に含まれるもの全てに○)	幅2m以上の流れ 幅2～0.5mの流れ 幅0.5m以下の流れ	幅2m以上の流れ 幅2～0.5mの流れ 幅0.5m以下の流れ	幅2m以上の流れ 幅2～0.5mの流れ 幅0.5m以下の流れ	幅2m以上の流れ 幅2～0.5mの流れ 幅0.5m以下の流れ
	人工護岸の程度 (1つ選択)	ほとんど人工護岸 一部・無し	ほとんど人工護岸 一部・無し	ほとんど人工護岸 一部・無し	ほとんど人工護岸 一部・無し
	岸辺の草の繁茂※2 (1つ選択)	繁茂・まばら ほぼ無し	繁茂・まばら ほぼ無し	繁茂・まばら ほぼ無し	繁茂・まばら ほぼ無し
	水底の底質※3 (1つ選択)	砂礫質・砂泥質・泥質 コンクリートや岩盤	砂礫質・砂泥質・泥質 コンクリートや岩盤	砂礫質・砂泥質・泥質 コンクリートや岩盤	砂礫質・砂泥質・泥質 コンクリートや岩盤
	カワニナの生息 (1つ選択)	生息 ・ 無し	生息 ・ 無し	生息 ・ 無し	生息 ・ 無し
② 止水域の環境条件	止水域のタイプ※4 (区画内に含まれるものに○)	水田・池・ 草丈の低い湿地 草丈の高い湿地 その他()	水田・池・ 草丈の低い湿地 草丈の高い湿地 その他()	水田・池・ 草丈の低い湿地 草丈の高い湿地 その他()	水田・池・ 草丈の低い湿地 草丈の高い湿地 その他()
	圃場整備※5の程度 (1つ選択)	全て整備 一部・無し	全て整備 一部・無し	全て整備 一部・無し	全て整備 一部・無し
	湿地や畦・岸辺の 草の繁茂※2 (1つ選択)	繁茂・まばら ほぼ無し	繁茂・まばら ほぼ無し	繁茂・まばら ほぼ無し	繁茂・まばら ほぼ無し
	冬期の水のたまり方※6 (1つ選択)	湛水・湿潤 乾燥・不明	湛水・湿潤 乾燥・不明	湛水・湿潤 乾燥・不明	湛水・湿潤 乾燥・不明
	カワニナ・タニシなど 貝類の生息(1つ選択)	生息 ・ 無し	生息 ・ 無し	生息 ・ 無し	生息 ・ 無し
区画全体	人工照明の有無	有り ・ 無し	有り ・ 無し	有り ・ 無し	有り ・ 無し
	水辺が林に接している	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ
備考※7					

※1 平常時の川幅で記録して下さい。

※2 草が十分生えていても草刈りによって草丈がホタルの発生期間を通じて低く維持されている場合には「まばら」に○を、草刈りが不定期 な場合には「繁茂」に○をしてください。

※3 「砂礫質」：水をかき混ぜてもすぐに透明な上澄み水が生じる、「砂泥質」：かき混ぜると濁っているがすぐに砂が沈降する、「泥質」：かき混ぜるといつまでも濁っている。

※4 湿地の草丈は便宜的に50cm以上を「高い」、50cm未満を「低い」とする。放棄水田も湿地に含め、その草丈でいずれかに区分する。

※5 「圃場整備」とは、耕地の生産性の向上を目的として行われる公共事業で、水田の区画整備（四角形の水田への改良）や乾田化、直線的な水路や灌漑施設の整備などが行われる。

※6 「水面有り」：水がたまり水面が確認できる、「湿潤」：水はたまっていないが土は湿っている、「乾燥」：土が乾燥している。

※7 備考欄には水辺の環境やホタルの生息に影響しそうなことで気づいたことを記入下さい。（例：草刈りや植生の変化、水温や水質、農薬の使用、天敵の生息状況など）

モニ1000里地 ホタル類調査 調査記録用紙 (特徴的な変化) ver. 3.1

サイト番号・サイト名: _____

調査年: _____

項目	変化の有無	備考(変化した内容、気づいたことなどをご記入ください)
気になった変化・結果(環境、出現種、頻度など)	有 ・ 無	